

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立淀川小学校

令和8年4月

大阪市内 淀川小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学力に関して

昨年度は、研究部を中心として「自ら考え学び合う子どもの育成 ～楽しさをあじわい 確かな学力を目指して～」を研究テーマに算数科の向上を目指す取り組みを進めてきた。令和7年度大阪市学力経年調査において4年が+3、5年が+13、6年が+4ポイントの向上があった。一定の課題解決ができた。都島区内各校の結果に迫るべく、引き続き算数科の向上を核としながら、学力向上を目指したい。

○生活指導において

学校教育目標を「子どもたちの笑顔のために 新たな教育の創造を！」とし、自己肯定感の増進につながる教育活動を実践することや、進んであいさつができるよう、登校時の指導や強調週間、淀川ベストタイム、いいところみつめ等の取り組みを続けてきた。教職員の創意工夫ある活動を作り出し、さらに向上させたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を99%以上にする。

○令和11年度の校内調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

○令和11年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。

○令和11年度の小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○学習者用端末を授業や授業以外で、毎日活用する。

○教職員一人の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度活用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を88%以上にする。
- 教職員一人の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立 淀川小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を90%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 （R7経年調査結果 目標90% 4年91.1、5年92.3、6年78.3） ○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 （R7経年調査結果 目標90% 4年91.1、5年92.4、6年84.7）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめに対する認識を高め、より良い人間関係を作っていこうとする児童を育てる。	
指標 ・いじめに関する内容を取り扱う学習内容に、学期に1回以上取り組み、児童一人一人のいじめに対する認識を高めていく。 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があっても、いけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 学習規律や学校のきまりを守らせることにより規範意識を養う（学習規律や忘れ物を含む）。	
指標 ・「正しいろう下歩行週間」の取り組みを学期に1回実施し、児童の実態把握に努めるとともにきまりを守ろうとする態度を養う。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳や人権に係る授業など様々な活動を通して、子どもたちが自分や友達のいいところを見つけられるようにする。	
指標 ・いいところみつけの活動に年2回取り組み、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めていく。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 （R7経年調査結果 4年109、5年86（+3）、6年105（+13）） ○小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 （R7経年調査「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか」結果 4年75.6、5年73.1、6年76.1%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 算数科での児童の興味・関心や理解が深まるように、教材教具の工夫、ICTの活用を行い、主体的・対話的な授業展開を考える。また、習熟度別指導・少人数指導を充実させ、きめ細かい指導を行い、基礎学力の定着を図る。 指標 ・校内調査において、「算数の学習が分かる」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を86%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化や、児童が健康な生活を送ろうとする意識を育てるために環境づくりを行う。 指標 ・校内調査において、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きることが大切だと思いますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ・保健週間のカードに「寝た時刻」「起きた時刻」を児童が記入することで、早寝・早起きを意識できるようにして、規則正しい生活を送れるようにしていく。 ・学期に1回、学年だより等で、「早寝、早起き」ができるように啓発する。 ・校内調査において、「朝食を毎日食べていますか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度活用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を88%以上にする。 （R7 校内調査「心の天気を週に4日以上つけた」と回答した児童の割合、2年85.7、3年83.3、4年95.7、5年100、6年77.8） ○教職員一人の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月25時間以下とする。 （R7 累計一人1か月あたりの平均時間外勤務時間 26時間42分）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 宿題や連絡帳、心の天気など、授業以外の場面で学習者用端末を週4日以上活用できる場面を作る。 指標 ・3年以上の学年において、校内アンケートの「宿題や連絡帳、心の天気など、授業以外の場面で学習者用端末を週4日以上使いましたか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 ・1・2年は、校内アンケートの「パソコンを1しゅうかん2かい、つかいましたか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員が児童の前で生き生きと働けるよう、健康を保持する取り組みを行う。 指標 ・定時退勤日を「全員による会合を実施しない日」かつ「午後5時45分までに退勤する日」として、月に3回（6、9、10、2月については4回）実施する。 ・教育課程編成委員会が、業務上の無理無駄を少なくするための意見を教職員から募り、検討・提案を年1回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	